

報告

沖永良部島神野貝塚出土炭化物の放射性炭素年代測定

宮城 幸也¹⁾・上村 俊雄²⁾・大西 智和・鐘ヶ江 賢二³⁾

1) 891-9295 鹿児島県大島郡知名町大字知名 307 知名町教育委員会

2) 前鹿児島国際大学

3) 891-0197 鹿児島市坂之上 8-34-1 鹿児島国際大学

1. はじめに

沖永良部島は、鹿児島県の奄美群島南部にある面積 94.51km²の島で、徳之島と与論島の間に位置する。沖永良部島には、南側に知名町、北側に和泊町の2つの自治体がある。知名町は鹿児島県本土から南へ 542km、沖縄本島からは北に 60km を隔てた位置にある。

神野貝塚は、大島郡知名町大字大津勘字神野に所在する。太平洋に面した場所に位置し、標高約 5～10 m の臨海砂丘地に立地する。1982 年～1983 年に沖縄国際大学考古学研究室・鹿児島大学考古学研究室が発掘調査を実施した。一帯は防風林となっており、樹木の比較的小さい箇所に ABC 計 3 本のトレンチが設定された。A・B トレンチを沖縄国際大学、C トレンチを鹿児島大学が調査を行なった。縄文時代の遺物が数多く出土し、九州本土との交流が存在していたことが分かる移入系土器も認められる。縄文時代前期～後期まで遺物が層序に従って出土し、奄美・沖縄諸島の土器編年を検討する上で重要な遺跡の一つであり、土器型式の標識遺跡でもある。

近年では、個人畑地改良事業に伴い試掘・確認調査が実施され、縄文時代前期～縄文時代後期の土器などが出土している。また、北東方向約 400 m に所在するサクダマタ古墓群 7 号墓からは、出土した人骨片が縄文時代晩期中葉頃と 11 世紀～12 世紀頃であることが放射性炭素年代測定で判明している。

今回、新里貴之准教授（沖縄国際大学）から沖永良部島はじめ琉球列島の先史時代の様相を再検討するため、神野貝塚 C トレンチ 11 層上部の掘り込み遺構から一括出土した炭化物の放射性炭素年代測定の提案があった。上村俊雄氏らの調査概要によると、この掘り込み遺構は径約 1 m、深さ 20cm の規模の貯蔵穴で、多量のタブノキの実や焼け



図 1 神野貝塚の位置



図 2 神野貝塚の現況（遠景）

たゴホウラ製貝輪などの出土が報告されている。

知名町教育委員会では、神野貝塚から検出された掘り込み遺構が類例の少ない貯蔵穴の可能性があること、サクダマタ古墓群 7 号墓との遺跡の位置関係を鑑みて年代測定を実施することにした。

本稿では、掘り込み遺構から出土した炭化物の放射性炭素年代測定成果について報告する。



図3 神野貝塚の現況（近景）

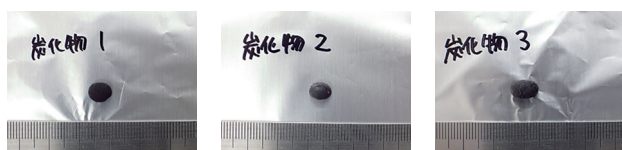


図4 試料写真

2. 試料および方法

試料は鹿児島国際大学ミュージアムに所蔵されている炭化物を対象にした。高宮広土氏に種子同定の協力を依頼し、多量の炭化物からタブノキの実3点を抽出した。種子同定後、知名町教育委員会が加速器分析研究所に放射性炭素年代測定を委託した。

3. 報告

炭化物の放射性炭素年代測定の結果、縄文時代中期末葉から後期初頭頃に相当する年代値が示された。Cトレンチ11層は面縄前庭式系統の土器が占めており、上層は面

縄東洞式土器が認められる。このことから、炭化物の年代測定結果と土器の堆積状況に大きな差異は無いと考えられる。

4. おわりに

今回の分析結果で、縄文時代中期末葉から後期初頭頃に神野貝塚でタブノキの実が利用されていたことを確認することができた。今後は出土層位及び土器との総合的な研究や類似遺跡との比較検討が期待される。

なお、神野貝塚の炭化物の年代測定を実施するにあたり、新里貴之氏、竹中正巳氏、森田太樹氏からご教示をいただいた。種子同定については、高宮広土氏に協力いただいた。記して感謝申し上げます。

参考文献

- 鹿児島大学法文学部考古学研究室 1984「沖永良部島神野貝塚Cトレンチ発掘調査概要」『南西諸島の先史時代に於ける考古学的基礎研究』pp.51-60 鹿児島大学法文学部考古学研究室
- 森田太樹 2005「神野貝塚」『先史・古代の鹿児島 資料編』pp.852-853 鹿児島県教育委員会
- 森田太樹・宮城幸也【編】 2014『神野貝塚』知名町教育委員会
- 宮城幸也・竹中正巳 2022「沖永良部島サクダマタ古墓群7号墓出土人骨の放射性炭素年代測定」『南九州地域科学研究所所報第38号』pp.29-32 鹿児島女子短期大学附属南九州地域科学研究所

表1 神野貝塚出土炭化物の放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-221067	炭化物1	遺構・一括	炭化物(タブノキの実)	AAA	-25.27 \pm 0.19	3,950 \pm 20	61.18 \pm 0.18
IAAA-221068	炭化物2	遺構・一括	炭化物(タブノキの実)	AAA	-26.16 \pm 0.24	3,920 \pm 20	61.41 \pm 0.19
IAAA-221069	炭化物3	遺構・一括	炭化物(タブノキの実)	AAA	-24.57 \pm 0.26	3,890 \pm 20	61.61 \pm 0.19

[IAA登録番号: #B613]

表2 神野貝塚出土炭化物の放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值, 暦年較正用 ^{14}C 年代, 較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-221067	3,950 \pm 20	61.14 \pm 0.18	3,947 \pm 24	4508calBP - 4489calBP (9.8%) 4440calBP - 4400calBP (36.9%) 4370calBP - 4355calBP (8.5%) 4325calBP - 4301calBP (13.1%)	4516calBP - 4479calBP (15.2%) 4445calBP - 4345calBP (61.7%) 4337calBP - 4293calBP (18.6%)
IAAA-221068	3,940 \pm 20	61.26 \pm 0.19	3,917 \pm 24	4415calBP - 4352calBP (44.7%) 4329calBP - 4298calBP (23.6%)	4420calBP - 4287calBP (89.8%) 4274calBP - 4249calBP (5.7%)
IAAA-221069	3,880 \pm 20	61.67 \pm 0.19	3,890 \pm 24	4405calBP - 4345calBP (39.7%) 4338calBP - 4293calBP (28.6%)	4411calBP - 4245calBP (95.4%)